

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐくみの家 レインボー			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日 ～ 2025年9月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年9月1日 ～ 2025年9月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有・意見交換	様々な経験や知識、資格を有する従業員が意見を交わし、日々の生活や活動内容などを改善できるようにしている その場に同席出来ない職員のために記録をとり情報共有に努めている	他事業所との情報交換の場を設けていく 外部の専門家等の意見の聴取の機会を設ける
2	活動内容 (特に長期休みのおでかけなど)	長期休みなどには外部へのおでかけなど普段経験出来ない活動を積極的に取り入れている	今まで取り組んでこなかった活動への挑戦 新しい情報へのアクセス
3	子どもの特性に合った支援計画および実行	日々の支援について情報共有・意見交換の場面を多く設けている 集団で一律な対応ではなく、子ども一人一人の特性や状態にあった支援となるよう計画立案を行い、実行した際には日々再評価・修正を行う	従業員の知識・技術向上のための研修頻度の向上 外部への見学・研修の参加

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報共有や事業所見学などの機会	情報伝達方法が掲示のみ等になってしまい、保護者への説明・周知が十分ではない 事業所見学等の機会が十分でない	研修や訓練の実施の際に保護者に伝わりやすい方法で周知していく工夫が必要 保護者が参加できるイベントの開催や見学できる機会を設ける必要がある
2	父母会の開催やペアレントトレーニングへの取り組み	利用者・保護者の地域分散、保護者の特性・属性の多様性：国籍、対象学区や学校（通常級、支援級、特別支援学校など）	保護者の交流機会を設けられるような施設見学会や事業所イベントの開催が必要
3	地域住民や放課後児童クラブ等との交流	地域住民や他施設との情報交換・交流機会の欠如	地域住民との交流イベントへの参加や避難訓練等の協力に向けての取り組みが必要